

熊本県内経済情勢報告

令和6年2月

財務省九州財務局



九州財務局のHPはこちら！！

<https://lfb.mof.go.jp/kyusyu/>



ホームページ



X(旧Twitter)



Facebook

(問い合わせ先)


財務省九州財務局経済調査課

TEL 096-353-6351 (代表)

096-353-6354 (夜間直通)

1. 総論

【総括判断】「県内経済は、緩やかに回復している」







項目	前回（5年10月判断）	今回（6年1月判断）	前回比較
総括判断	緩やかに回復している	緩やかに回復している	

（注）6年1月判断は、前回5年10月判断以降、足下の状況までを含めた期間で判断している。

（判断の要点）

個人消費は、物価上昇の影響もみられるものの、緩やかに回復している。生産活動は、海外経済の減速などの影響がみられるなか、横ばいの状況にある。雇用情勢は、持ち直している。

【各項目の判断】

項目	前回（5年10月判断）	今回（6年1月判断）	前回比較
個人消費	緩やかに回復している	緩やかに回復している	
生産活動	高水準を維持しているものの一部に弱さがみられており、このところ横ばいの状況にある	横ばいの状況にある	
雇用情勢	持ち直している	持ち直している	
設備投資	5年度は減少見込み	5年度は増加見込み	
企業収益	5年度は減益見込み	5年度は減益見込み	
住宅建設	持ち直している	持ち直している	

【先行き】

先行きについては、雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあって、回復していくことが期待される。ただし、物価上昇、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要がある。

2. 各論

【主な項目】

■ 個人消費 「緩やかに回復している」

百貨店・スーパー販売は、物価上昇の影響もみられるものの、外出機会の増加などにより、緩やかに回復している。コンビニエンスストア販売は、観光地周辺の店舗を中心に好調である。ドラッグストア販売は、食料品を中心に好調である。ホームセンター販売は、日用品などの動きが鈍いことから、弱含んでいる。家電大型専門店販売は、節電効果の高い製品の需要が引き続き堅調であるものの、客足が伸びず、弱い動きとなっている。乗用車の新車販売は、持ち直している。宿泊は、インバウンド客の増加などから、回復している。

(主なヒアリング結果)

- クリスマスなどのパーティー需要や帰省の動きがコロナ前の状態に戻り、オードブルや寿司などの総菜は年末年始も好調だった。(百貨店・スーパー)
- 12月初のバーゲンは、暖冬の影響と物価高による買い控えにより苦戦した。一方、免税カウンターの売上は12月に過去最高額を更新。国別では台湾と香港が多く、主に宝飾品や化粧品、婦人衣料が購入されている。(百貨店・スーパー)
- 鉄道利用者が増加しているため、土産物販売は好調であるが、単価の低い商品の売上が伸びている。クリスマスのプレゼント需要は全体的に動きがみられたが、早めに準備するのではなく、直前になって購入する傾向がみられた。(大型商業施設)
- イベントや祭り、観光地の人出が増加したこともあり、周辺店舗の売上は好調。TSMC 近隣の店舗は、関係者の利用が多かったとみられ、年間を通じて売上が伸びている。(コンビニエンスストア)
- 低価格戦略が奏功し食品や日用品が好調であり、地場スーパーなどからの客の流入が続いている。(ドラッグストア)
- 洗剤やティッシュなどの日用品は競合店対策を強化したが、前年割れの状況。特にドラッグストアとの競争が激しく、消費者もしっかり価格比較をして店の使い分けをしていると感じる。(ホームセンター)
- 旅行やレジャーに消費が向いているほか、暖冬の影響もあり、売上は伸び悩んでいる。(家電大型専門店)
- 足下では一部メーカーの出荷停止の影響もみられるものの、半導体等の部材不足の解消に伴い、新車登録台数は前年を上回って推移している。(自動車販売店)
- インバウンド宿泊客は台湾、韓国が中心である。台湾については昨年定期便が就航して以降急増し、現在も増加を続けている。(公的機関)
- 宿泊はTSMC関係者が多く、今後も工場の本格的な稼働に向けて宿泊需要が見込まれる。宴会については70~80人規模の宴会も開催されており、コロナ前とほぼ同水準に戻っている。(宿泊施設)
- 忘年会、新年会はかなりコロナ前に戻ってきた印象はあるが、タクシー不足の影響もあり二次会需要はまだ戻っていない。利用客からは二次会に行かない代わりに一次会の時間を長くしたいとの要望もある。(飲食店)

■ 生産活動 「横ばいの状況にある」

食料品等は、外食向け需要が堅調なこともあり、持ち直しつつある。汎用・生産用機械は、海外経済の減速などの影響がみられるものの、半導体製造装置を中心に高水準を維持している。電子部品・デバイス、海外経済の減速などの影響がみられるものの、高付加価値製品を中心に高水準を維持している。化学は、横ばいの状況にある。輸送機械は、自動車関連を中心に緩やかに回復している。

- 新型コロナの5類移行やインバウンド増加などの影響により、国内需要が回復している。(食料品等)
- 半導体製造装置市場は調整局面の状況が続いているが、底を打ったと考えており、今年は海外からの受注に動きが出てくる見通し。(汎用・生産用機械)
- 海外市場の回復の遅れがみられるものの、高付加価値製品を中心に高い稼働状況を維持している。(電子部品・デバイス)
- 供給制約が解消され、受注残分の挽回生産を行っていることから、生産水準は引き続き高い状況。(輸送機械)

■ 雇用情勢 「持ち直している」

有効求人倍率は、このところ低下している。新規求人数は、前年を下回っている。企業の人手不足感、高い状況が続いている。

- 世界的な半導体の在庫調整の影響で、関連の製造業や労働者派遣業で求人を探る動きが続く一方、インバウンドなど観光需要の回復もあり、宿泊業・飲食サービス業を中心に人手不足感が続いている。(公的機関)
- 半導体関連企業の立地増加などで、人員確保が年々難しくなっている。(製造業)
- 慢性的に人手が不足している食料品製造業などでは、水際対策終了以降、外国人技能実習生へのニーズが増えている。(労働者派遣業)

- 設備投資 「5年度は増加見込み」 (全産業) 「法人企業景気予測調査」5年10-12月期
 - 製造業では増加見込み、非製造業では減少見込みとなっている。
- 企業収益 「5年度は減益見込み」 (全産業) 「法人企業景気予測調査」5年10-12月期
 - 製造業では減益見込み、非製造業では増益見込みとなっている。
- 住宅建設 「持ち直している」
 - 新設住宅着工戸数(5年9~11月)をみると、持家及び分譲住宅は前年を下回っているものの、貸家は前年を上回っている。

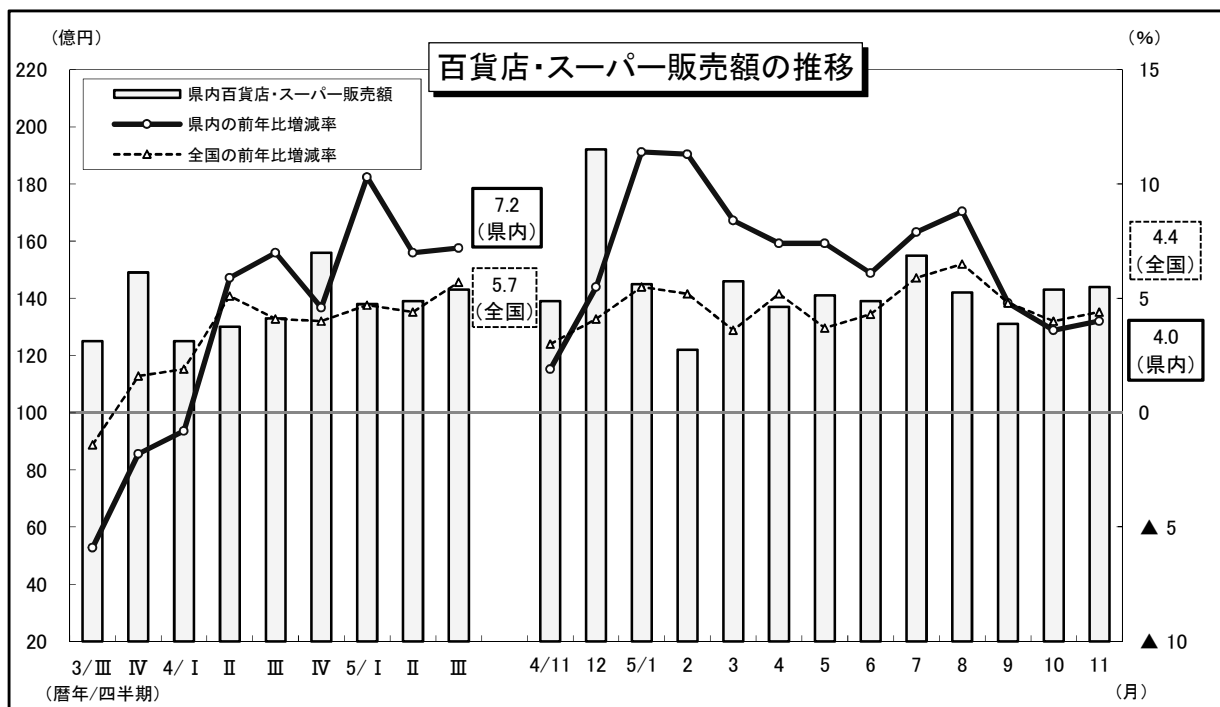
【その他の項目】

- 企業の景況感 「現状判断は『上昇』超」 (全産業) 「法人企業景気予測調査」5年10-12月期
 - 5年10~12月期の景況判断BSIをみると、全産業では「上昇」超となっている。
先行き(全産業)をみると、6年1~3月期は「上昇」「下降」同数の見通しとなっている。
- 公共事業
 - 公共工事請負金額(5年4~12月累計)をみると、前年度を下回っている。
- 倒産
 - 企業倒産(5年10~12月期)は、件数、負債総額ともに前年を上回っている。

【参 考 資 料】

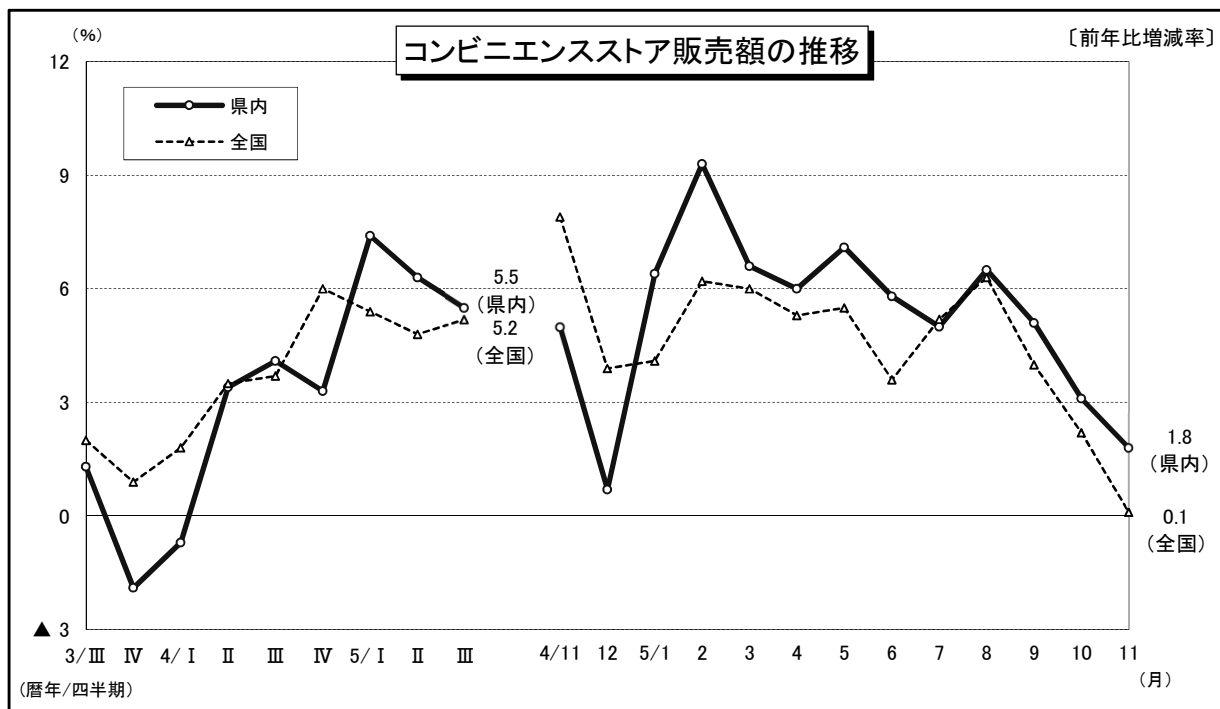
1. 個人消費	参-1
2. 生産活動	参-4
3. 雇用情勢	参-5
4. 設備投資	参-6
5. 企業収益	参-6
6. 住宅建設	参-7
7. 企業の景況感	参-8
8. 公共事業	参-9
9. 倒産	参-10

1. 個人消費



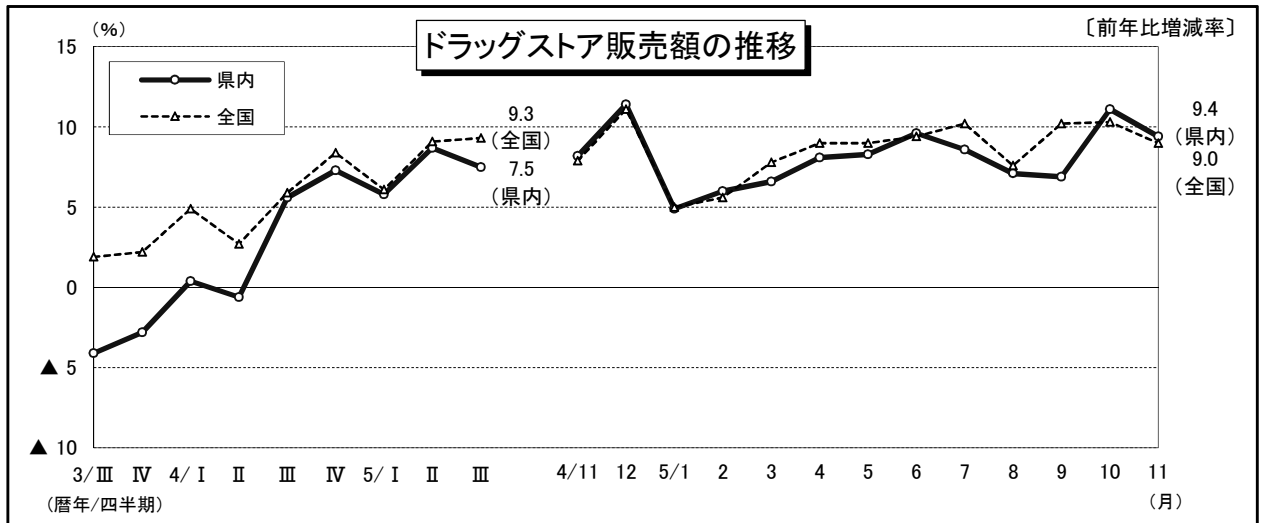
(注) 全店ベース。四半期の棒グラフは月平均。

[資料: 経済産業省]



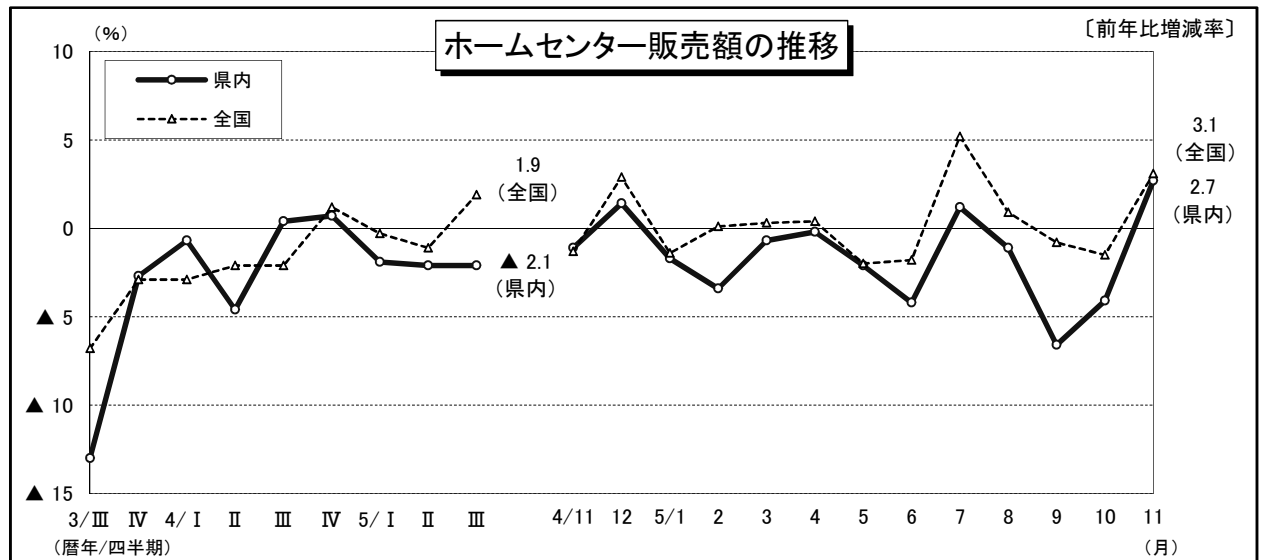
(注) 全店ベース。

[資料: 経済産業省]



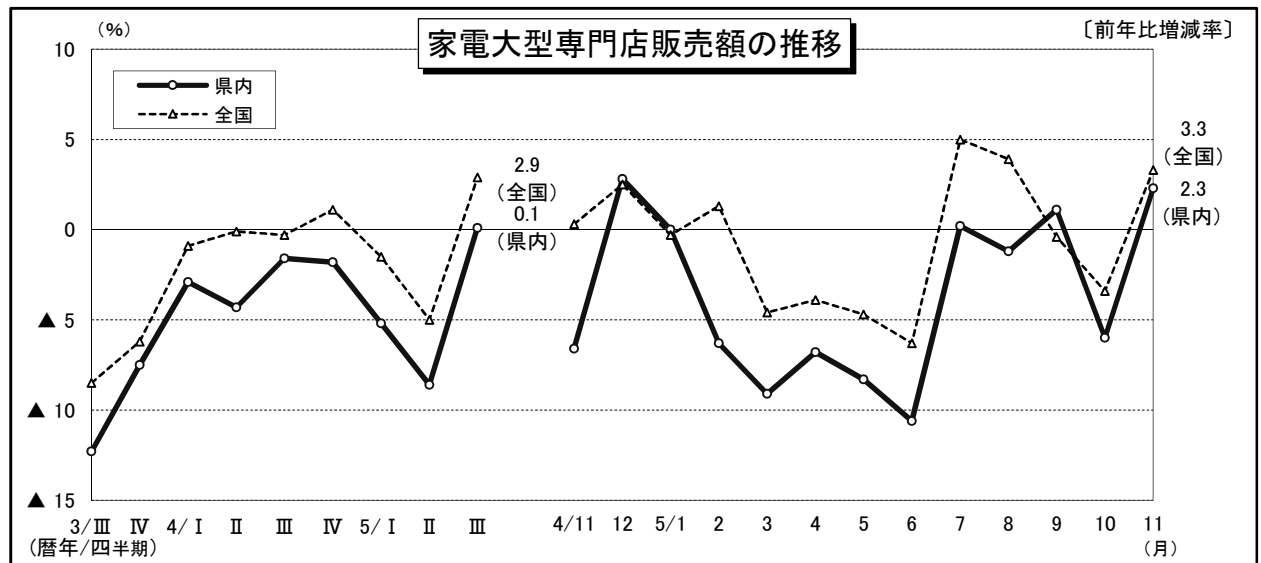
(注)全店ベース。

[資料:経済産業省]



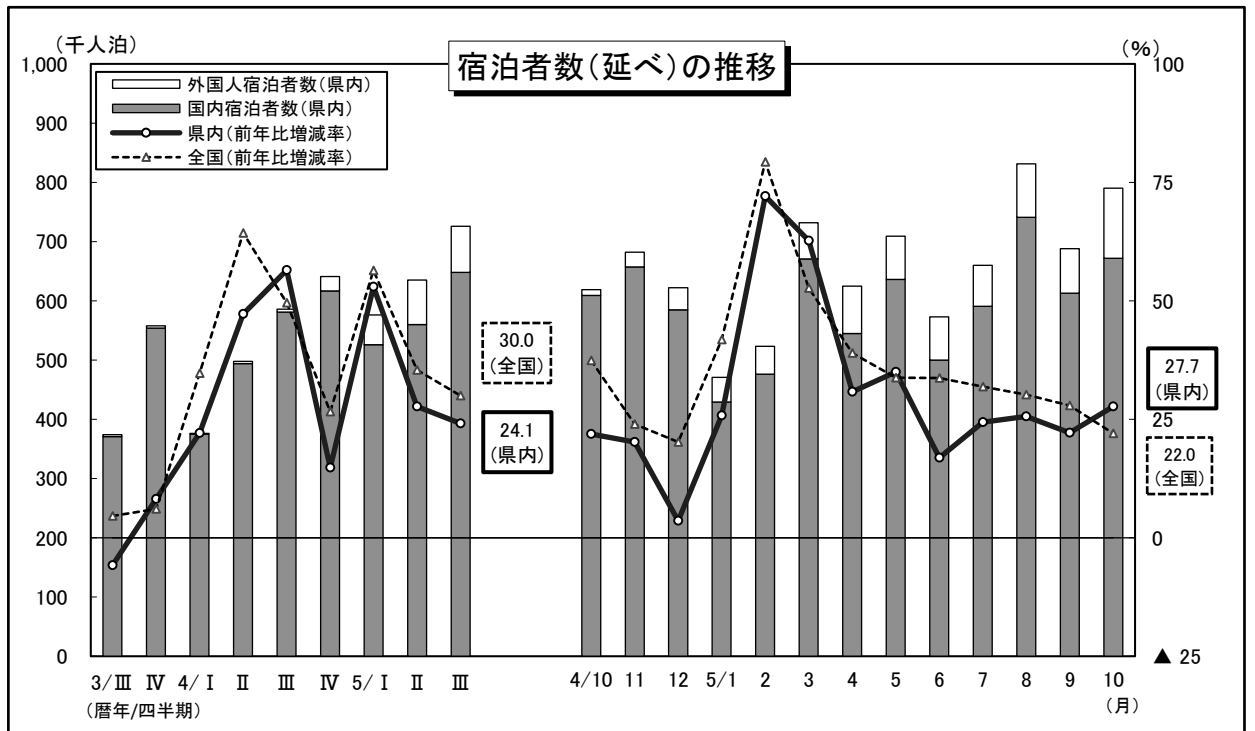
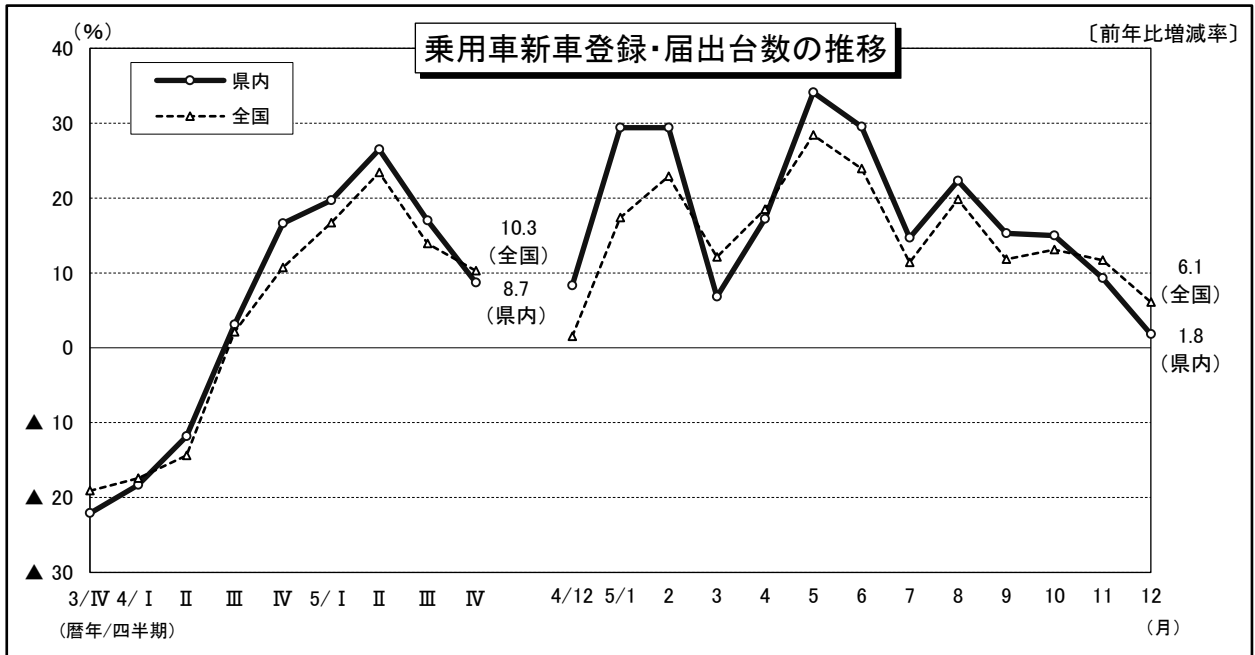
(注)全店ベース。

[資料:経済産業省]

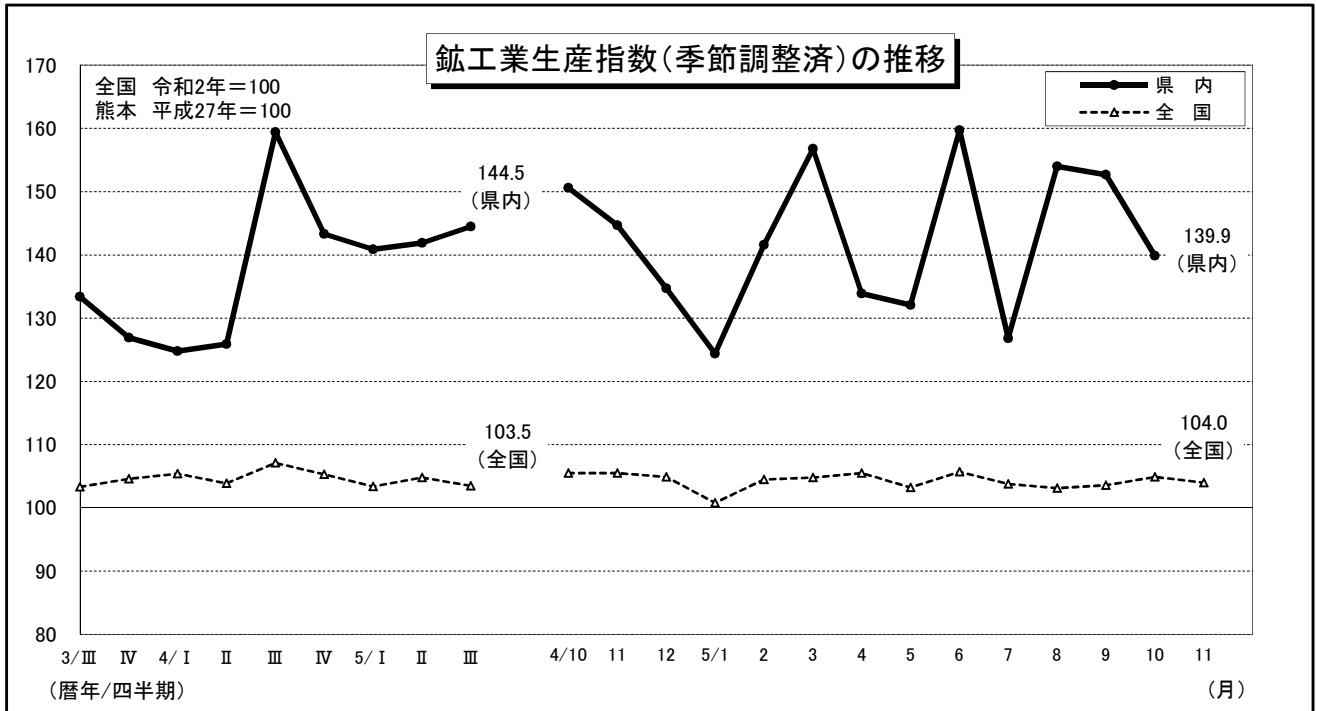


(注)全店ベース。

[資料:経済産業省]

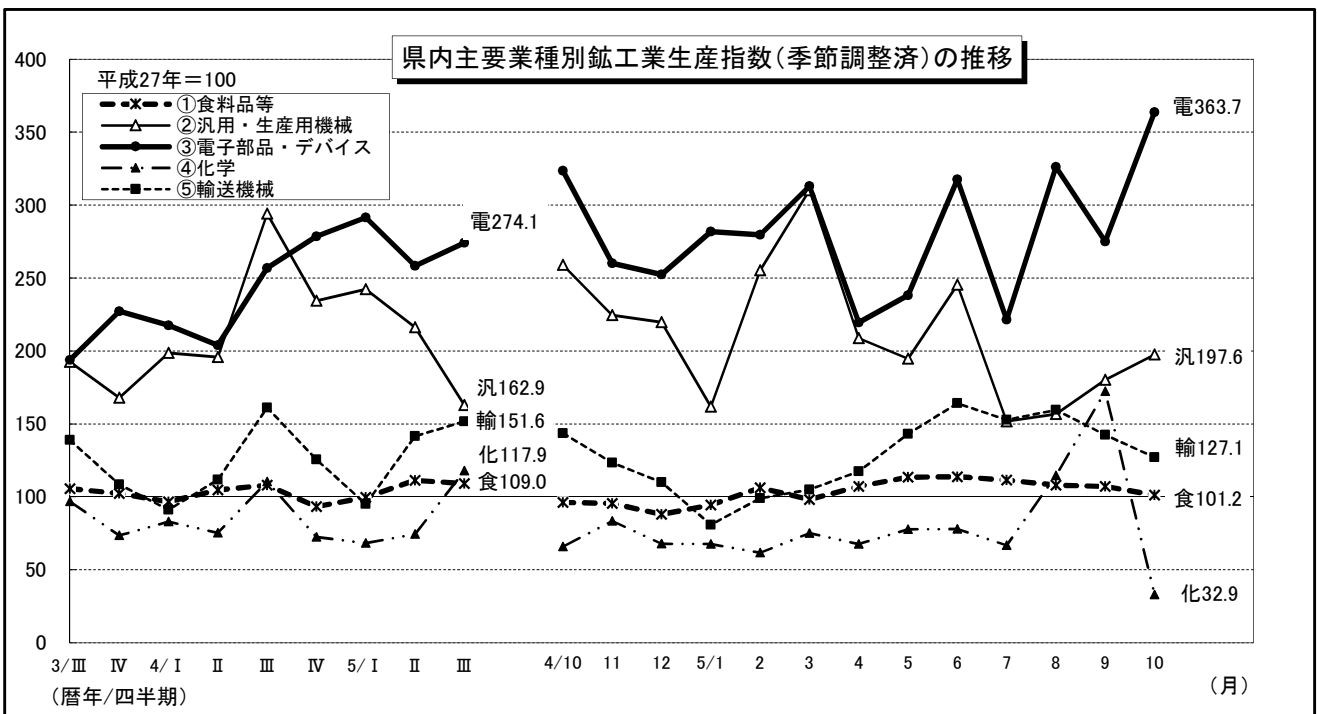


2. 生産活動



(注) 県内の5年10月は速報値。

[資料: 経済産業省、熊本県]

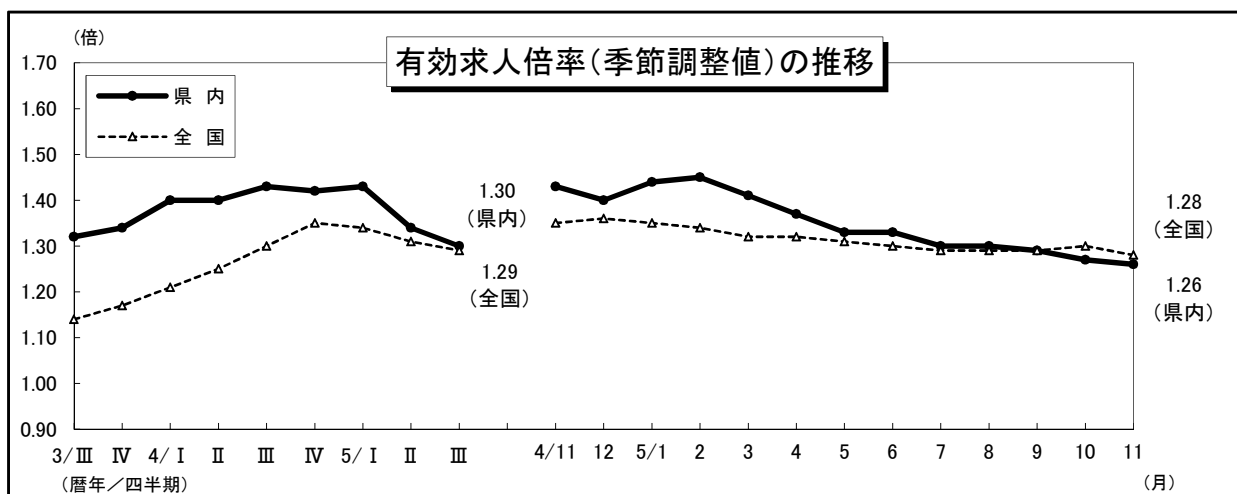


(注) 1. 5年10月は速報値。

2. ○数字は、県内におけるシェア順位。

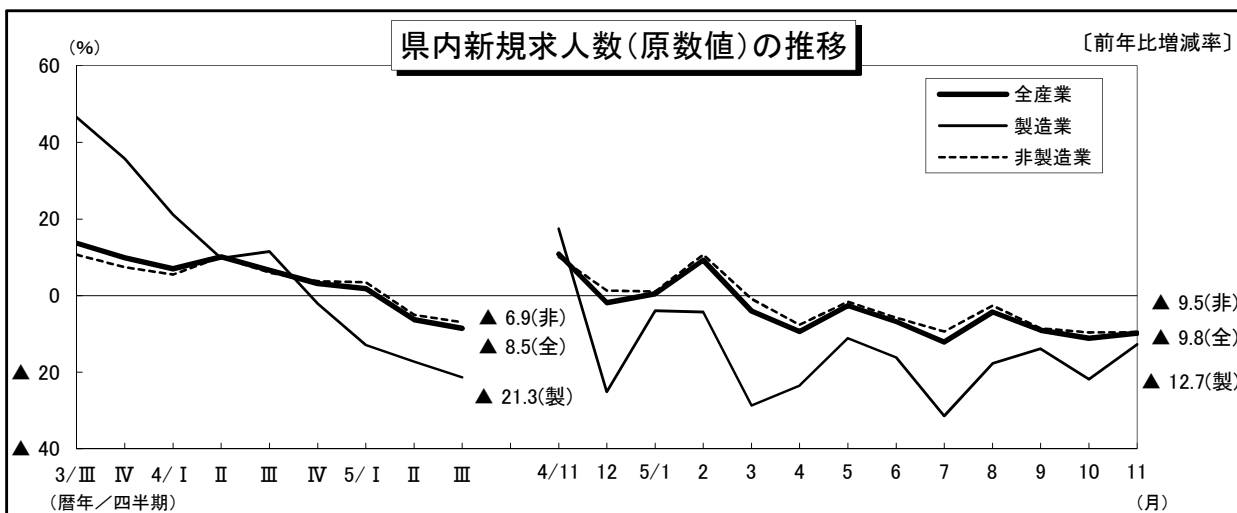
[資料: 熊本県]

3. 雇用情勢



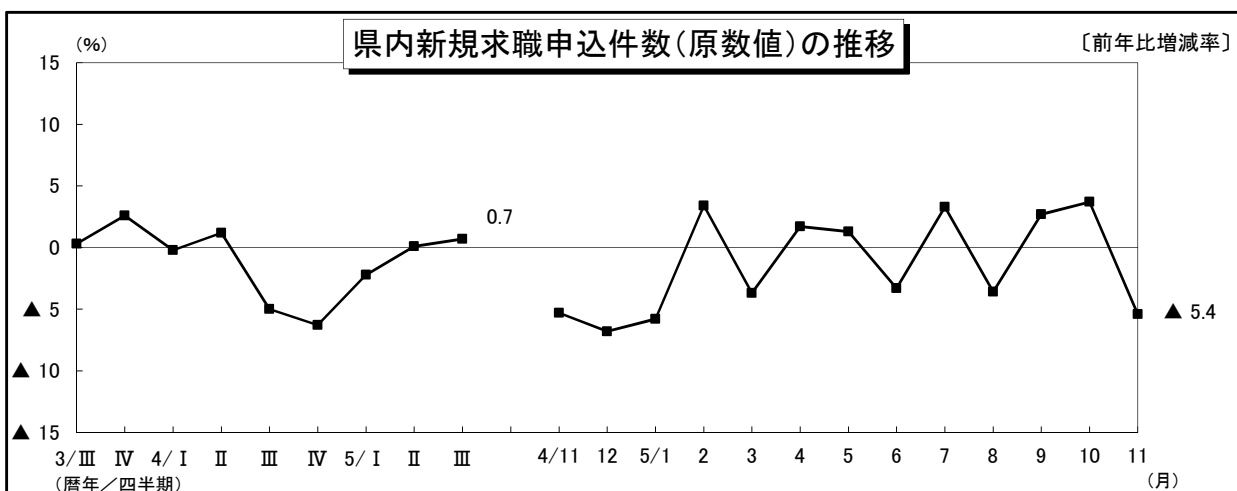
(注)パートを含む。

[資料:厚生労働省、熊本労働局]



(注)パートを含む。

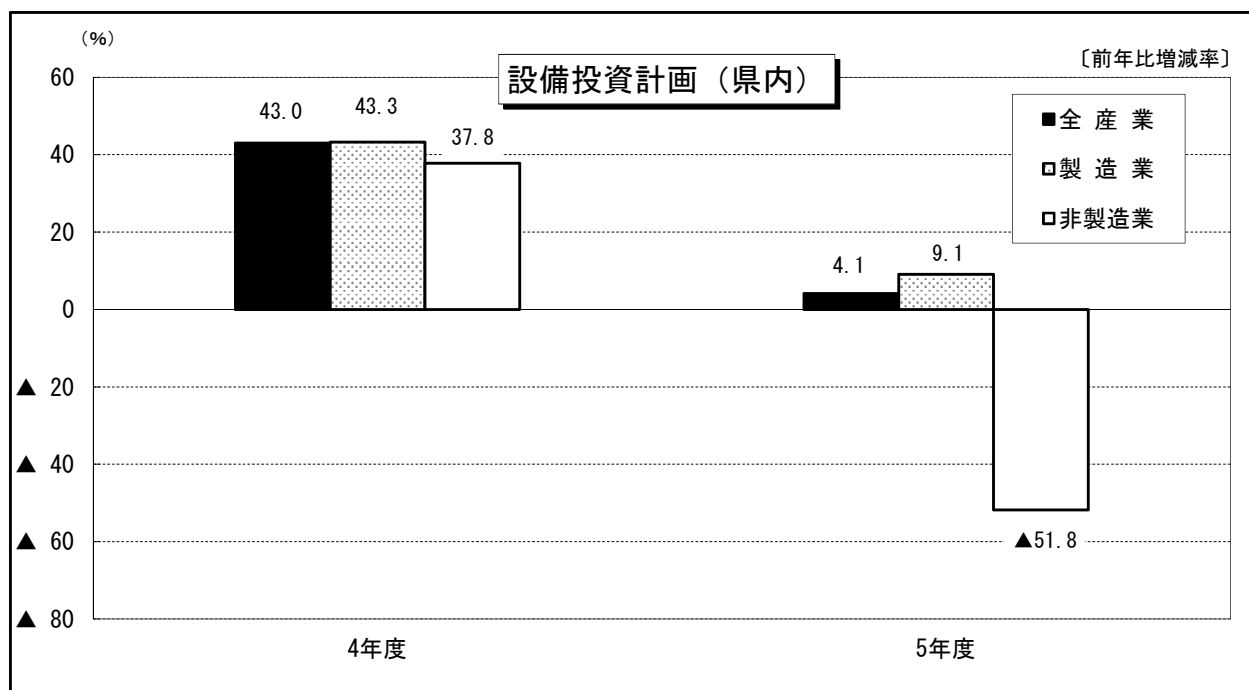
[資料:熊本労働局]



(注)パートを含む。

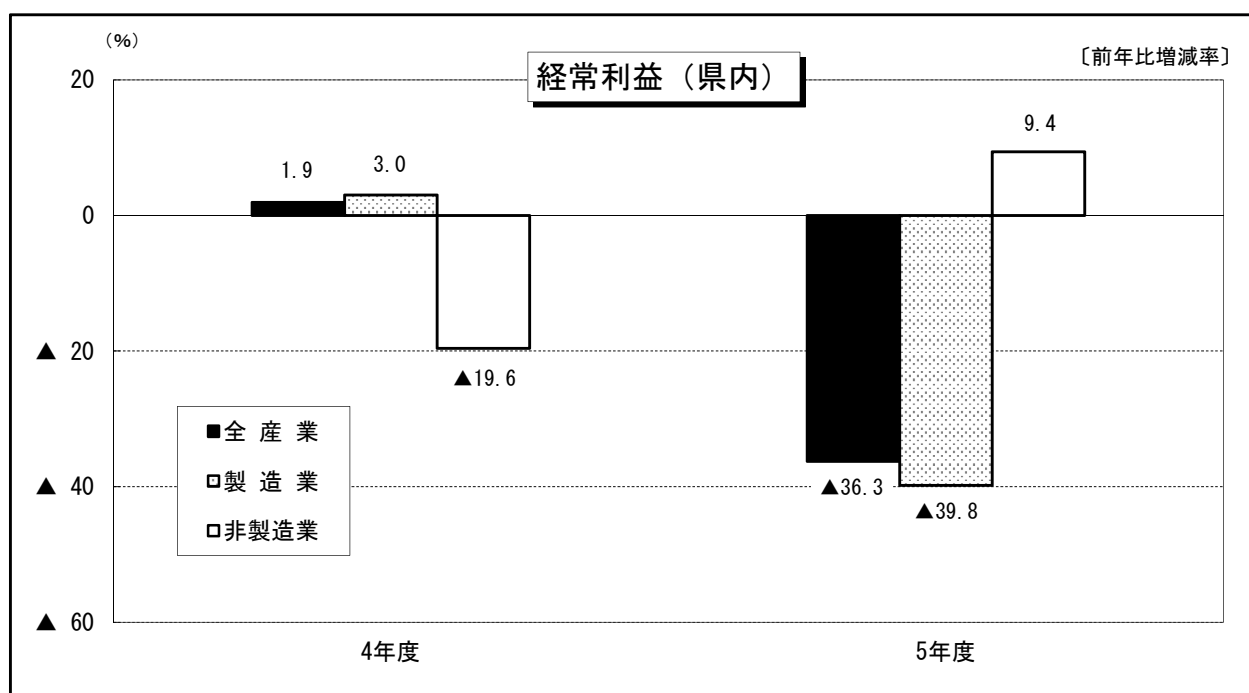
[資料:熊本労働局]

4. 設備投資



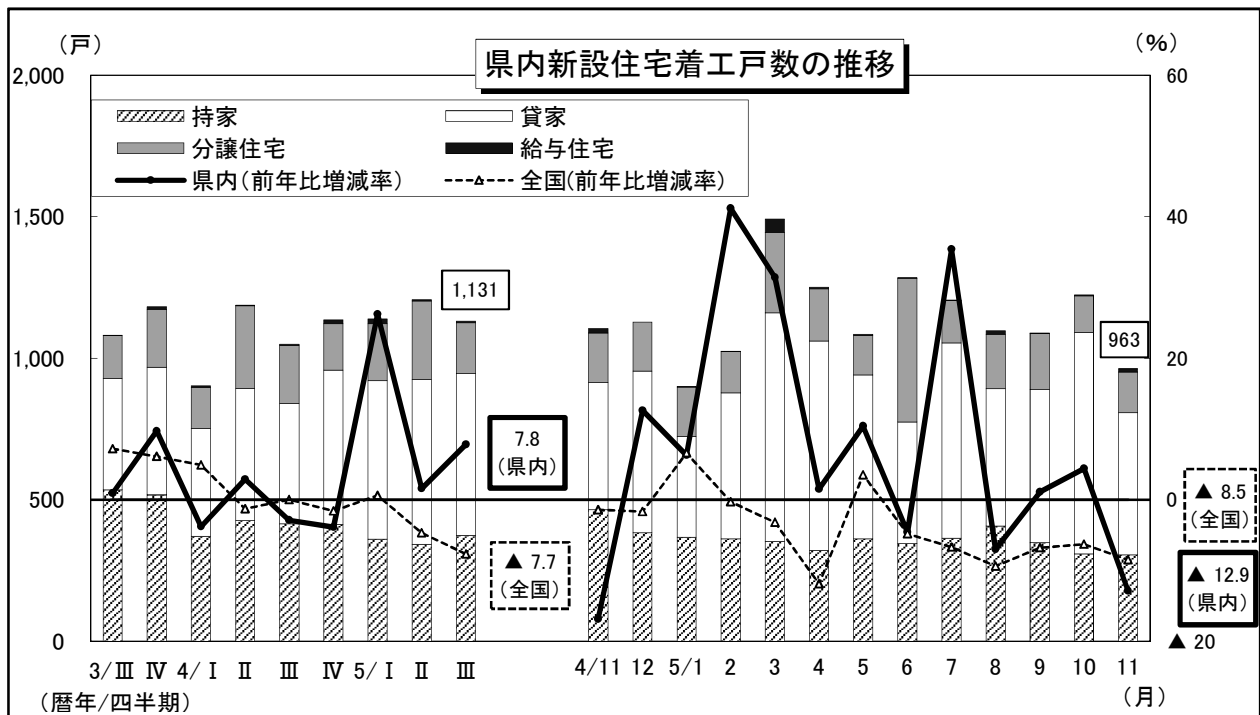
[資料:九州財務局(法人企業景気予測調査)]

5. 企業収益



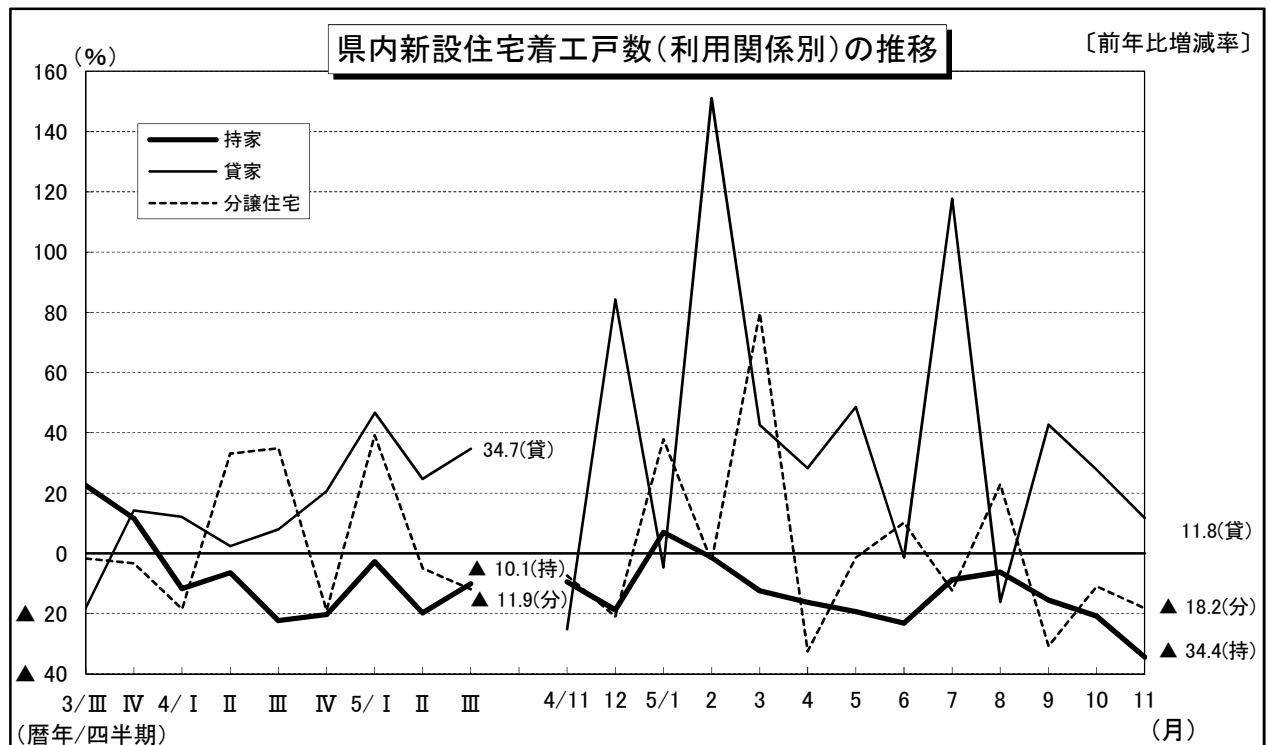
[資料:九州財務局(法人企業景気予測調査)]

6. 住宅建設



(注)四半期の棒グラフは月平均。

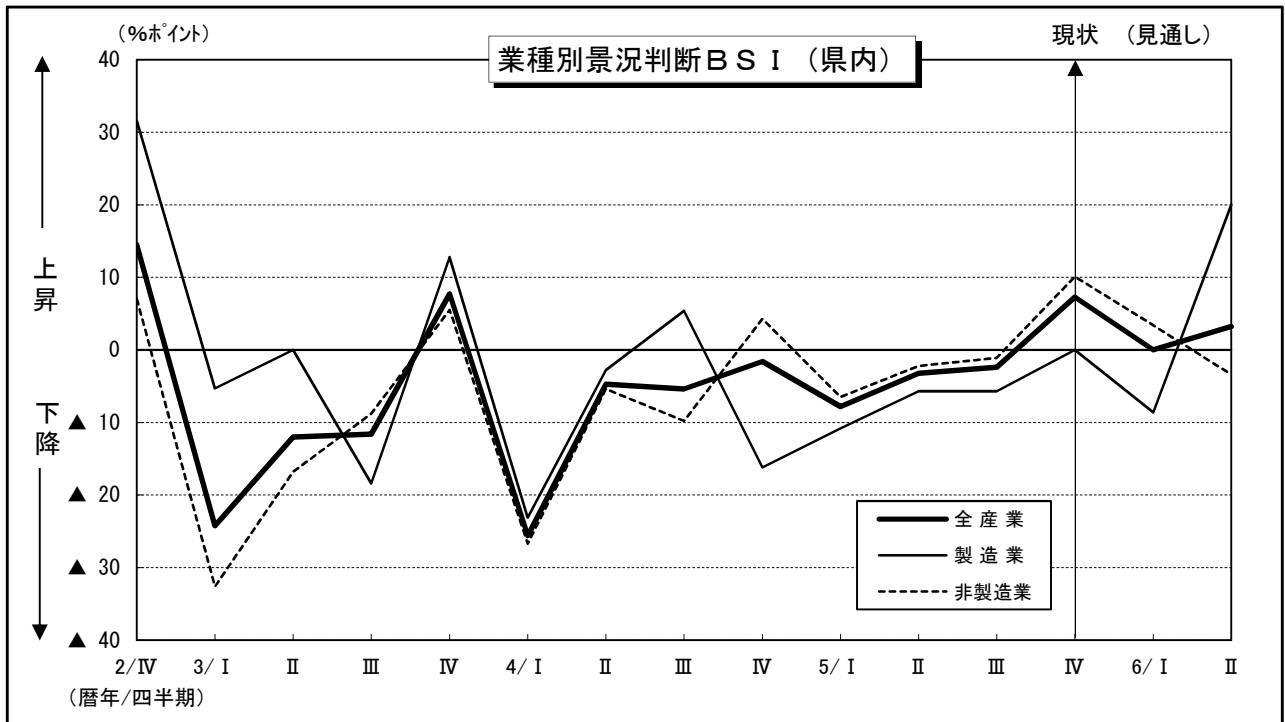
[資料:国土交通省]



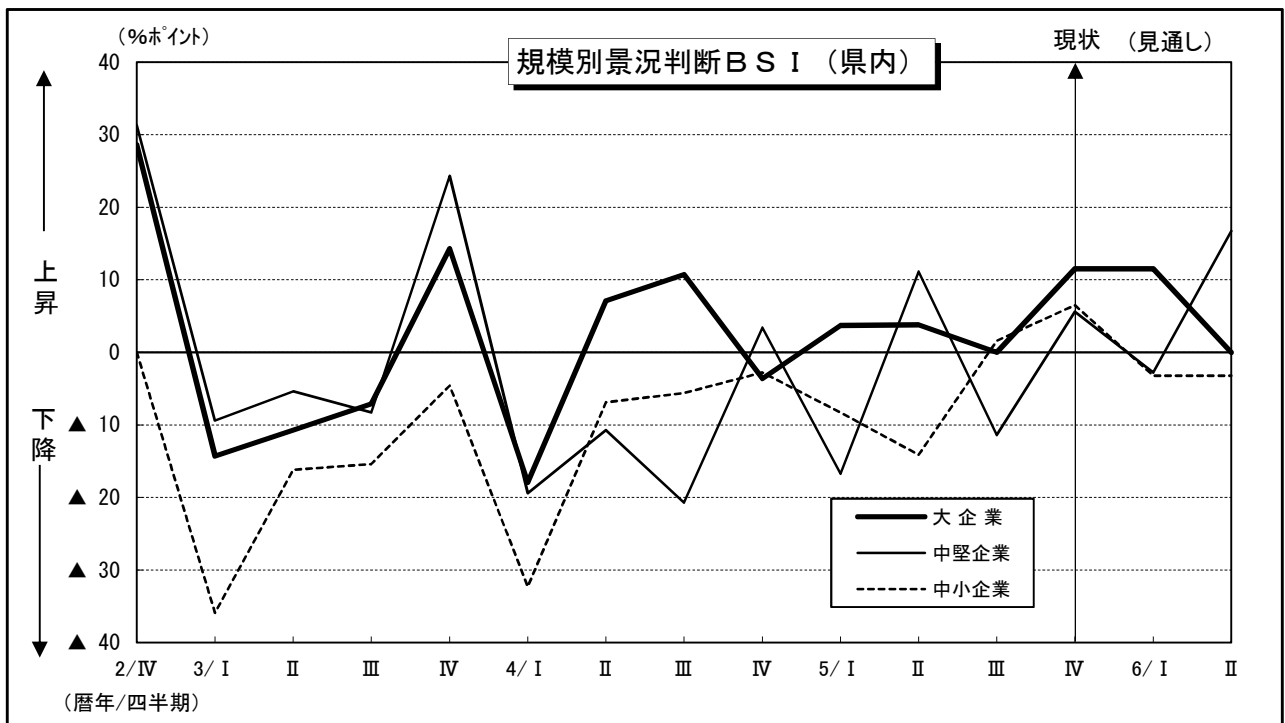
(注)給与住宅については、些少であるため表記していない。

[資料:国土交通省]

7. 企業の景況感

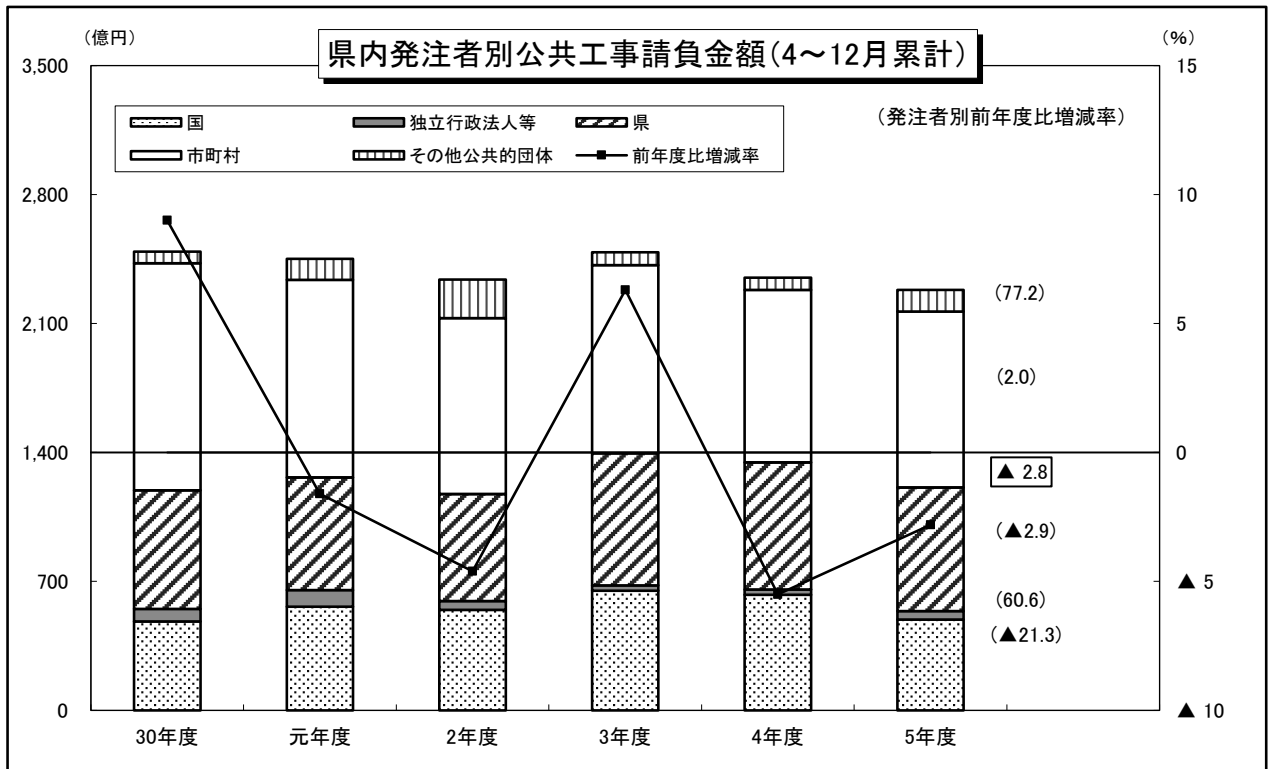


[資料:九州財務局(法人企業景気予測調査)]

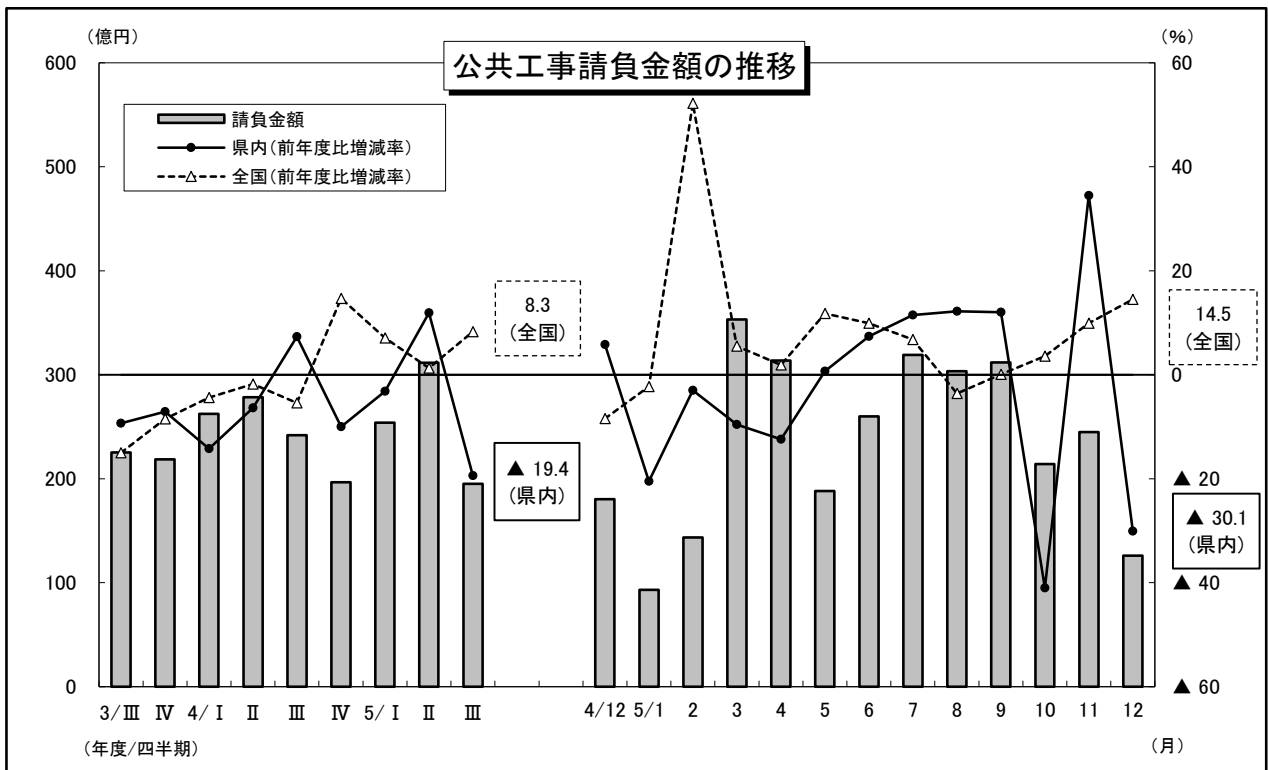


[資料:九州財務局(法人企業景気予測調査)]

8. 公共事業



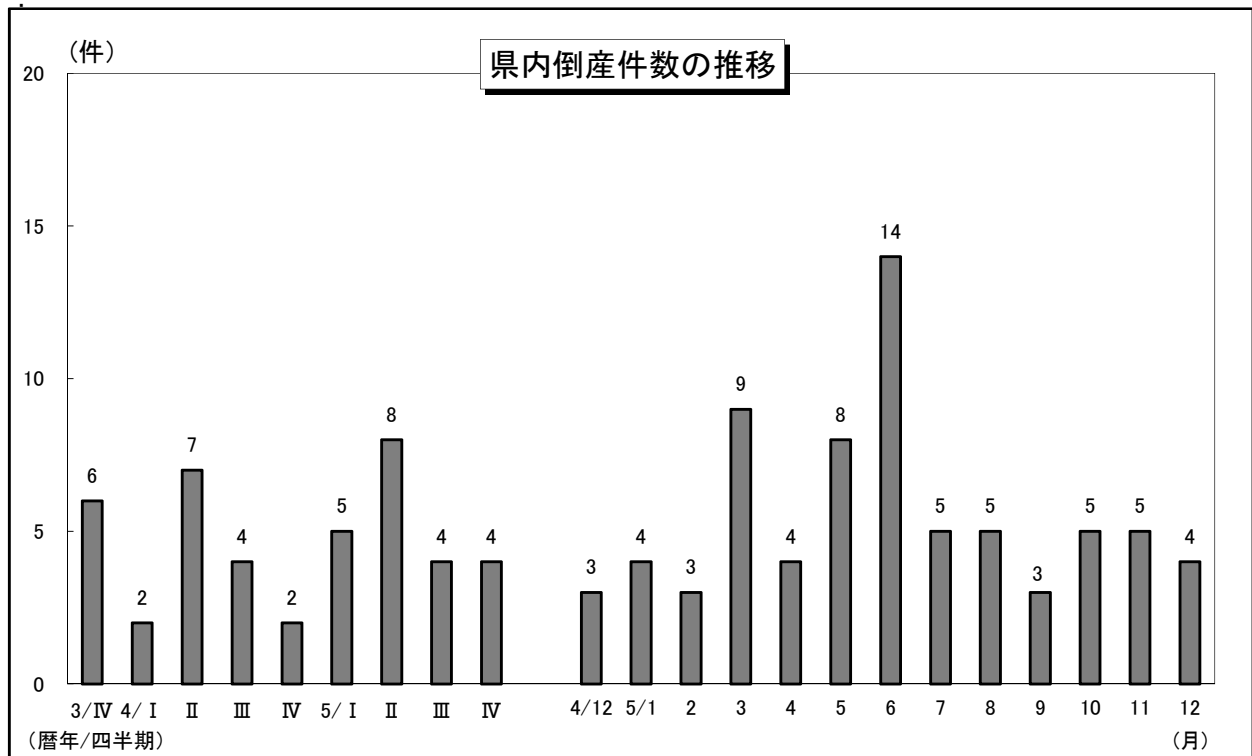
[資料:北海道建設業信用保証(株)、東日本建設業保証(株)、西日本建設業保証(株)]



(注) 四半期の棒グラフは月平均。

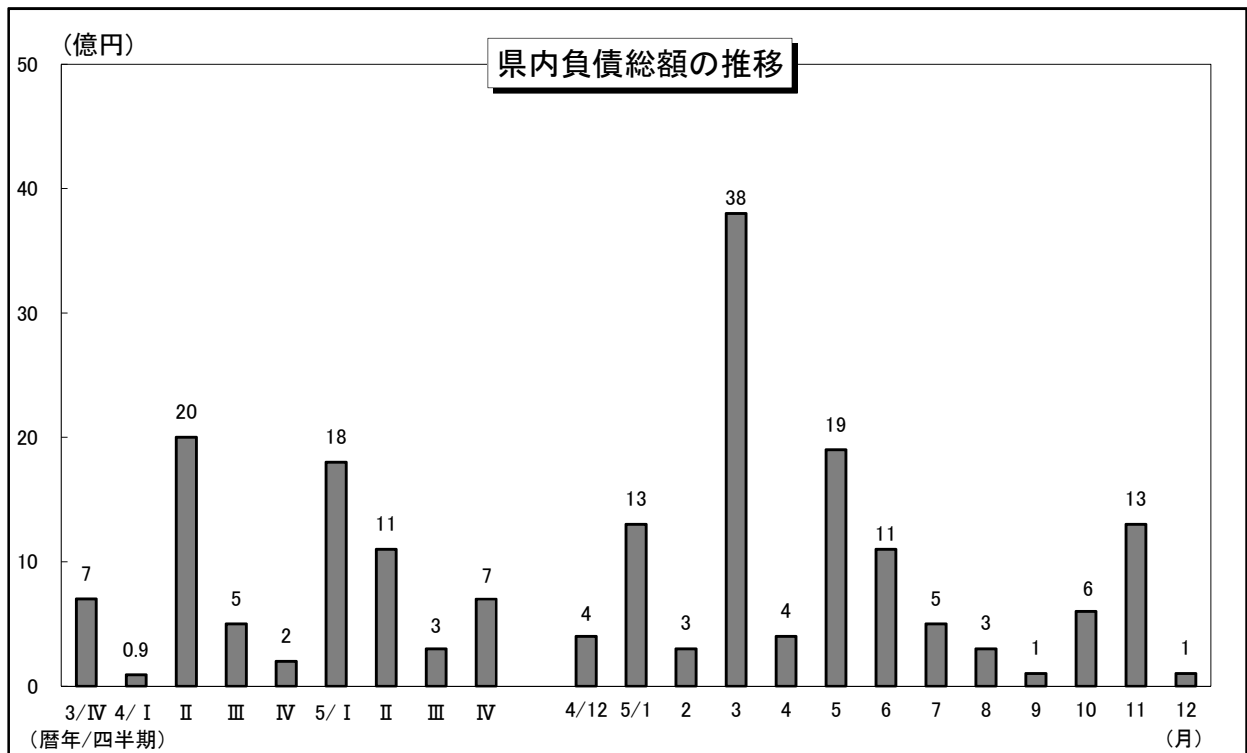
[資料:北海道建設業信用保証(株)、東日本建設業保証(株)、西日本建設業保証(株)]

9. 倒産



(注) 四半期の棒グラフは月平均。

[資料: 東京商工リサーチ]



(注) 四半期の棒グラフは月平均。

[資料: 東京商工リサーチ]